

静かに狂う眼差し——現代美術覚書

おぼえ  
がき

Kawamura Memorial DIC Museum of Art × Michio Hayashi  
Quiet Dislocations: Notes on Contemporary Art



ジャスパー・ジョーンズ《ハイスクールの日々》1969年 © Jasper Johns/VAGA, New York & JASPAR, Tokyo, 2017. C1342

2017年7月8日(土) — 8月27日(日)

千葉県佐倉市坂戸631 Tel.050-5541-8600(ハローダイヤル) 開館時間 | 9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日 | 月曜(7/17は開館)、7/18  
主催 | DIC株式会社 後援 | 千葉県 千葉県教育委員会 佐倉市 佐倉市教育委員会  
入館料=一般1,000円(900円)、一般リピーター2,000円、学生・65歳以上800円(700円)、学生・65歳以上リピーター1,600円、小中学生・高校生600円(500円)  
※( )内は20名以上の団体料金 ※リピーターチケットは展覧会会期中、何度でもご入館いただけます

DIC川村記念美術館  
Kawamura Memorial DIC Museum of Art

DIC川村記念美術館の収蔵作品を新たな視点でご紹介する「コレクション Viewpoint」。今回は、コレクションの中心をなす現代絵画約90点を、美術史・美術批評の分野で活躍する林道郎の手引きでお楽しみいただきます。

ポロックやラインハート、ルイスやステラなどの、絵画の本質を追求するモダニズムにより導きだされた作品群は、戦後アメリカ美術におけるひとつの到達点とみなされてきました。そのため、飽和状態に達した絵画は完結したメディアとして急落し、60年代

には芸術の様式は立体作品など「絵画」ではないものへと多様化していきました。しかし、「絵画」は決して消滅することはなく、現在ではかつてないほどの勢いで私達の前に現れ出ています。このような「死なない絵画」について林道郎は思索を繰り返し、独自の言葉を構築してきました。本展では、絵画がもつ「人間の感覚や想像力や思考のモデルとしての可能性」について、4つのキーワードを基軸に探ります。林道郎の眼と思考によって、絵画に託された問題が広く深い射程をもつことを知るきっかけになれば幸いです。

## 1. 密室と絵画

ブラッサイが撮影したアトリエのマティスの写真を中心に、近代において画家が密室(アトリエそしてプライベートな居住空間)のなかで育んできた、見る欲望とその対象との関係について模索します。



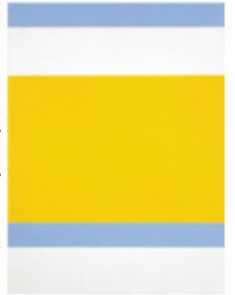
1973年  
ブラッサイ(マティスとモデル、1939年)

◆ 講演会：林道郎 (美術史・美術批評、上智大学教授)  
8月5日(土)「密室と絵画：静かに狂う眼差し」  
13:30-15:00(13:00開場) 予約不要 / 定員80名 / 入館料のみ

## 2. 反射と透過

表面処理への関心が鋭くなる60年代、反射・反映(光を撥ね返す表面)と透明(光を透過させる表面)という問題が先鋭化し、「環境」の問題に至ります。マクロフリンとベルに焦点を合わせ展示します。

ジェン・マクロフリン(Jen Macrowlin) 1958年



◆ 講演会：林道郎 (美術史・美術批評、上智大学教授)  
8月12日(土)「反射と透過：表面という問題」  
13:30-15:00(13:00開場) 予約不要 / 定員80名 / 入館料のみ

## 3. 鉛とパン

ジョーンズの鉛の作品群を起点に、現代美術において、物言わぬ灰色が大きなウェイトを占めるようになった事情とその意味を探ります。赤瀬川のトマソンやクリストのラッピングの仕事などにも言及します。



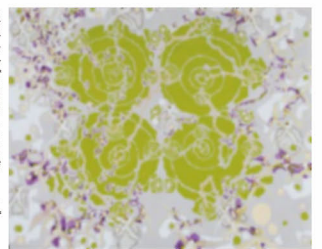
2019年  
ジャクソン・ポロック(Jackson Pollock)「パン」1969年  
© Japan Photo / MACCA New York (S) / ASPAR, Tokyo, 2017 CH42

◆ 講演会：林道郎 (美術史・美術批評、上智大学教授)  
8月19日(土)「鉛とパン：戦後美術における灰色への沈着と日常性への下降」  
13:30-15:00(13:00開場) 予約不要 / 定員80名 / 入館料のみ

## 4. 筆触のざわめき

戦後美術において筆触というものが、どのように語られ、どのような問題群とともにあり、そして今後どのように展開しうるのであるのか。19世紀から連続する視点によって、象徴的な作品を紹介いたします。

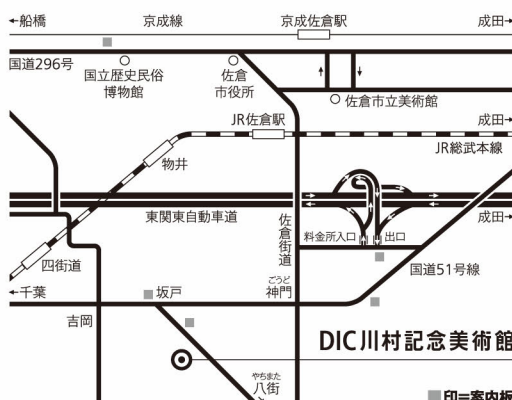
中西夏之(Shinichi Nishiyama)「始まり」2002年  
© Nishiyama Shinichi 2017



◆ 講演会：林道郎 (美術史・美術批評、上智大学教授)  
8月26日(土)「筆触のざわめき：手の(無)人稱」  
13:30-15:00(13:00開場) 予約不要 / 定員80名 / 入館料のみ

## DIC川村記念美術館 Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 Tel.050-5541-8600 (ハローダイヤル)  
http://kawamura-museum.dic.co.jp



### ギャラリートーク

- 7月8日(土) 林道郎 (美術史・美術批評、上智大学教授)
- 7月15日(土) ガイドスタッフによる対話型トーク「mite!」
- 7月22日(土) 前田希世子 (本展担当学芸員)
- 7月29日(土) アートテラー・と〜
- 8月19日(土) ガイドスタッフによる対話型トーク「mite!」
- ガイドスタッフによる定時ツアー  
(上記ギャラリートークの開催日を除く毎日)

各日14:00-15:00 / 予約不要 / 定員60名 /  
14:00エントランスホール集合 / 入館料のみ

### 交通案内

- 自動車で 東関東自動車道「佐倉IC」より国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分) 無料駐車場300台
- 東京駅からJRで JR総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)
- 上野駅から京成電鉄で 京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口(シロタカメラ)前より無料送迎バス(約30分)

送迎バス時刻表 ●印は土・日・祝祭日のみ運行 歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由 ※左記の館が休館の場合は経由しません

京成佐倉駅 ▶美術館	8:50	9:10	9:50	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50
JR佐倉駅 ▶美術館	9:00	9:20	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
美術館 ▶JR佐倉駅 ▶京成佐倉駅			10:50	11:20	11:50	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50	16:20	16:45	17:15

### リピーターチケット

講演会やギャラリートークが毎週開催される本展では、会期中に何度でも入館できるお得なチケットをご用意いたします。

一般：2,000円 / 学生・65歳以上：1,600円

### 関連書籍

林道郎著「現代美術覚書：さらによく見るために」(仮称)  
水声社 / 200ページ / 予価2,500円(税込)